

＜26年度5S監査院内ラウンド講評・表彰式＞

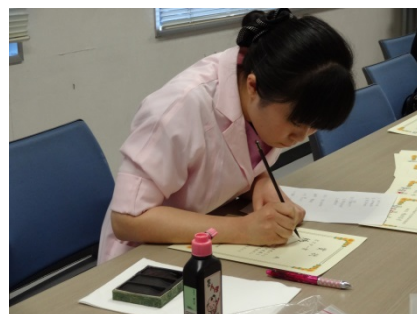
さる2月6日に、平成26年度5S監査院内ラウンド講評・表彰式が行われました。ベーシックマネジメント研究所の高原先生から、本年度の課題である「清潔・習慣化」を中心に、当院の5S活動に対する感想や今後の課題についてお話を頂きました。授賞式では、矯正科の3冠、昨年度の小児歯科に続き彗星のごとく躍り出た口腔ケアに会場が沸きました。



百人超の大所帯で全員参加の取り組みが光る矯正歯科外来



毎年上位ながら無冠の口腔ケア外来。継続は力なり。



賞状を書いているのは歯科衛生士の竹廻さんです。

＜5Sで安全で賞＞

5S活動の目的のうち、「安全」は病院にとり最重要です。今回は新たに「5Sで安全で賞」が設けられ、むし歯外来が受賞しました。例えば、パソコンケーブルをあえて宙に浮かすことにより、可動性を保ちつつ、視認性を向上させています。患者さんがつまづいたり、カートをケーブルの上に乗り上げてしまいパソコンが転倒してしまったりすることが防止できます。万一ケーブルに強い力がかっても、人やパソコンが転倒する前に磁石で取り付けたタップが外れるようになっています。これは大学院生による発案ですが、他の部署でも独創的なアイデアがまだまだたくさん出てきそうですね。



＜平成27年度へ向けて＞

高原先生からは、次年度の課題として以下の項目が挙げられました。①技工室等の手つかずのエリアに取り組む、②整理を継続的に行う、③積み残し課題に取り組む、④使用頻度に応じ整頓を進める、⑤外部からの見学会を実施する、⑥業務の5Sに繋げていく。「現状維持は後退を意味している」とのこと。各部署で改めてテーマを設定しフレッシュな気持ちで取り組むことを推奨されていました、



そろそろか？ ガイアの夜明け 取材来る

